

ADCA青年会議勉強会「令和6年度第1回農業・農村開発に係る若手実務者意見交換会」

【日 時】2024年11月5日（火）15時30分～17時00分

【場 所】農業土木会館における対面形式

【出席者】ADCA 会員を中心とした開発コンサルタント計 15名

参加要件：40代までのコンサルタント

【テーマ】若手コンサルタントのお悩み共有

【期待される成果】

海外業務を実施していくにあたっての、悩み・課題を共有することによって抱えている問題が整理し、その原因や解決策等を話し合うことで今後の業務改善および継続的なキャリア形成に繋げる。また、問題意識や知見を共有し、相互理解をすることで、参加者の親交を深める。

【概要】

本意見交換会は、下記プログラムに沿って実施された。

時間	内容
15:30 ～15:35（5分）	意見交換会の趣旨&意見交換手順の説明
グループワーク開始：各グループ4～5名程度にグループ分け（3グループ）し実施。	
15:35 ～15:40（5分）	自己紹介、役割分担（書記等）
15:40 ～16:40（60分）	1名ずつ、これまでの業務とそれらに対する悩み、課題等を共有する。それに対して、その他のメンバーが自分の経験談、解決策等を意見交換。 ①1名ずつ発表し、それに対して意見を述べる方法、②最初に全員が課題の概要をそれぞれ説明し、課題をグループ分けして協議する方法のどちらでも可とする。悩みや課題は業務内容に限らずキャリアプランやワークライフバランスに関する事等、何でも可。
16:40 ～16:55（15分）	各グループ発表 各グループ、グループ内で共有された課題とそれに対しグループ内で出た解決策等について発表をする。
16:55 ～17:00（5分）	クロージング（総評）

【まとめ】

以下は、各グループで共有された課題・解決策の一部である。

課題	解決策
業務	
C/P が活動に参加しない。	密にコミュニケーションをとる。コアなローカルスタッフを強化する。
JICA との契約で C/P に日当・宿泊・交通費等が出せず、C/P が活動に参加できない。	省庁からレターを出してもらい、費用を捻出
C/P の人事移動のターンが短く、技術移転に支障がある。	レターを出し、C/P を1名ではなく2名以上を付けてもらう。そうすることで活動が継続できる。
業務調整の仕事ばかりで専門性が身につかないと感じる。	色々な経験を積むことが大事。その経験は今後活用できる。また、技術的な活動に係れるよう、総括等に主張することも必要。
先方の協力が得られず、プロジェクトの進捗が遅い。特に普及等、なかなか進まない。	法律レベルで制度が整うと進み始めることが多い。制度面での打ち込みも検討する。
キャリア形成	
休暇の取り方、出張と私生活とのバランス	休暇や出張時期は前広に情報共有することで受け入れられるケースが多い。
結婚や出産のベストなタイミングを知りたい。モデルケースがないため、ライフステージが変わった後も働けるが不安。	上司に、自分の希望を主張すること。主張を通りやすくするためにも業務で成果はあげることは大事。また、自社でモデルケースがない場合でも他社を見るとモデルとなるケースもあるため、他社とも意見交換する。
人間関係	
後輩の教育の仕方	根気強く繰り返し指導。なぜこうするか理由も併せて説明すると伝わりやすい。

上記のように、参加者から、業務、キャリア形成、人間関係等多岐に渡る課題が共有され、それに対する解決策を意見交換することで、様々な経験やケースの共有ができ、有意義であったと好意的な感想が聞かれた。今後もADCA青年会議では、今年度の結果も踏まえ、若手コンサルタントが意見交換し、交流できる場を提供していきたい。



グループワークの様子



各グループの発表